



学認LMSの自機関限定コースをはじめとした 大阪大学における活用事例と課題

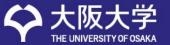
大阪大学 附属図書館 研究開発室



はじめに



- ・大阪大学では分野ごとの研究データ管理人材育成環境のため、人 文学研究科と附属図書館が連携し、DH分野の教材を開発。
- ・教材は、NIIの合成音声教材・マイクロコンテンツの形式で開発し、 既に学内に展開済。
- ・今後、学外機関からの利用を目指し、学認LMS上の機関限定コースを試験的に運用。
- *本発表は「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」および、 大阪大学「グローバル日本学研究拠点「拠点形成プロジェクト」」の成果の一部です。





デジタル・ヒューマニティーズ

DH分野教材の自機関限定展開

分野別教材 実践編IIIF





AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事 研究データ管理教材 実践



• DH分野 研究データ管理教材の開発

- 吉賀夏子先生(人文学研究科)
- 情報技術によって人文学研究を活性化。データ共有。
- IIIF(トリプルアイエフ)



International Image
Interoperability Framework

- 相互的な画像運用のための国際的枠組み
- e.g. 貴重書画像、絵巻物、文化財のオリジナル画像をウェブで公開

グローバル日本学教育研究拠点「拠点形成プロジェクト」 一人文科学分野向け研究データ管理を促進するデジタル・ヒューマニティーズ学習教材開発一

人文学研究者必見!研究データ管理ことはじめ --- OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用 ---

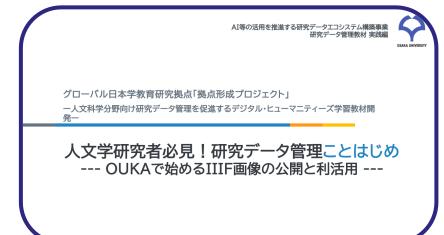


分野別教材 実践編IIIF





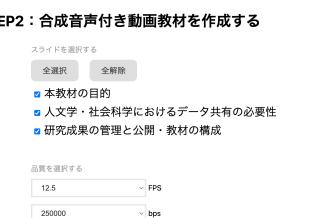
- 全7回 講義+確認問題
 - 本教材の目的
 - 研究データの管理
 - IIIFとは何か
 - IIIF画像の基本的な使い方
 - IIIFの可能性
 - IIIF対応画像の材料と作り方@OUKA
 - ⑦ まとめ
- *学内LMS展開時点で、学認LMS展開可能な 「マイクロコンテンツ」として教材を開発済み
 - ⇒PtM:合成音声着き動画教材作成のようす



PtM:合成音声付き動画教材作成システム

STEP2:動画教材の作成

STEP2:合成音声付き動画教材を作成する

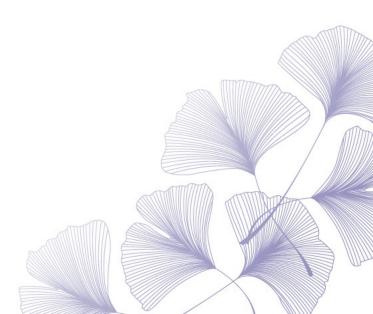








- ・自機関限定コース
 - 学認LMS 利用機関向け オプション機能(テスト運用中)の利用
 - 利用機関が作成した教材を登録、自機関のユーザ限定で公開。自機関限定コースの受講履歴を取得。
- Moodleにログイン、自身でコースを作成
 - *発表者 教員としてMoodle利用の経験あり
- ・機関限定コース
 - 自機関限定コースを指定した機関へ共有
 - <u>L IIIF編教材の多機関・研究者・学生への共有</u>







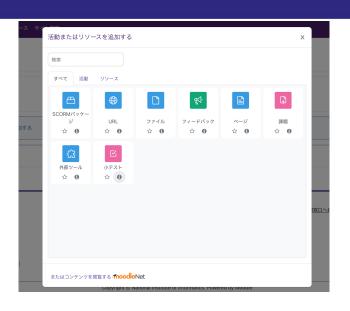




人文学研究者必見!研究データ管理ことはじめ-OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用-

コース	設定	参加者	評定	レポー
オムにく				



















い。場当たり的な対応になっている。そんなことはないでしょうか?

課題と展望





- 担当者(発表者)のMoodle使用経験・学内システム使用
 - ⇒ *本発表でのユーザー経験共有、限定的な視点。e.g. 過剰に (Moodleが)多機能、最低限の展開までが見えにくい。
- PtM(動画)の画質の限界·向上
- 今後IIIF編を他機関へ展開
 - ⇒ 学認LMS加入済/加入検討段階/未加入、展開のハードル。